

# 目 次

I . 和歌山大学南紀熊野サテライトについて	1
1 . 南紀熊野サテライトの紹介	1
2 . 2つの受講制度	2
3 . 受講モデル	4
II . 大学院科目等履修生の募集	5
1 . 出願および履修願の手続き	5
2 . 出願書類等	
㊦南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書	7
㊧履歴書	8
㊨令和2年度後期検定料の納入について	9
㊩履修願	10
III . 学部開放授業受講者の募集	11
1 . 登録および申請の手続き	11
2 . 登録書類等	
㊪学部開放授業受講者登録申請書・聴講申請書	13
㊫学部開放授業聴講申請書	14
㊬令和2年度後期学部開放授業の登録料・聴講料の納入について	15
㊭学部開放授業申請書類受付通知はがき	
IV . 令和2年度後期 南紀熊野サテライト開講授業	16
1 . 大学院授業科目	16
2 . 学部授業科目	18
オンライン授業の手引き	22

# I. 和歌山大学南紀熊野サテライトについて

## 1. 南紀熊野サテライトの紹介

- 和歌山大学南紀熊野サテライトは、大学の研究・教育機能を活用して地域づくりに貢献する「大学の地域ステーション」をめざしています。
- 地域社会と共に育ちあう、創造的な教育、研究、社会連携活動を行います。

和歌山大学南紀熊野サテライトは、地域の現実に対峙し、4つの視点から地域社会と共に育つ、創造的な教育・研究、社会連携活動をめざします。

1. 地域の知の拠点として
2. 大学の知的財産は地域資源
3. 地域・産・学・官みなが共に成長する仕組みづくり
4. 地域知の可能性を引き出す

和歌山大学は和歌山県との連携にもとづき、平成17年4月、県立情報交流センターBig・uに南紀熊野サテライト(設置当時は紀南サテライト)を開設しました。

南紀熊野サテライトは全国の地域型サテライトのさきがけであり、下記の事業を行っています。

1. 地域住民の多様な教育ニーズに対応した特色ある高等教育の実施
2. 地域研究の推進および地域の課題をふまえた生涯学習の機会提供
3. 地域自治体、企業等と連携した地域活性化に資する事業の実施
4. 高校を含めた地域に対する大学情報の発信

### 地域課題に沿った科目を開講



大学院科目の様子



機材を使った演習の様子



学部開放科目の様子



「世界農業遺産」現地実習の様子

## 2. 2つの受講制度

和歌山大学には、社会人等を対象とする「大学院科目等履修制度」と「学部開放授業受講制度」（※高校生は「高校生を対象とした大学授業の公開制度」）があり、それらを南紀熊野サテライトで利用できます。令和2年度後期に南紀熊野サテライトで受講できる制度の概要は以下のとおりです。

	大学院科目等履修制度	学部開放授業受講制度
区 分	大学院科目等履修生	学部開放授業受講者
資 格	大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	18歳以上 ※高校生は「高校生を対象とした大学授業の公開制度」をご利用ください。 詳細は和歌山大学ホームページをご覧ください。 ( <a href="https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/koudai/">https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/koudai/</a> )
選 考	願書および履歴書等による選考	なし（年齢確認のみ）
成績評価	あり	なし
単位認定	あり（成績評価「合格」の者）	なし
費 用	検定料 5,000円 入学料 10,000円 授業料 28,800円（1科目・2単位につき）	登録料 7,000円 聴講料 10,000円（1科目）
受講期間	入学後の連続する4学期（2年）間は履修申請が可能	登録後8学期（4年）の聴講申請が可能
修士課程への進学	社会人特別入試（南紀熊野サテライト）を経て、経済学研究科修士課程に進学することができます。	

### 大学院科目等履修制度とは

#### 【概要】

- 令和2年度後期の大学院の授業は原則、金曜日夜間および土曜日の日中を中心に、オンラインによる遠隔授業で実施します。
- 入学資格は、大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、書類審査等による選考があります。
- 科目等履修生として入学し、受講後に合格判定を受ければ、1科目につき2単位を取得できます。
- 本学(栄谷キャンパス)および岸和田サテライトで開講される大学院授業についても、科目等履修生として受講することができます。

### 【履修可能期間】

- 入学後の連続する4学期(2年)間は履修が可能です。この場合、所定の履修願による手続きが必要ですが、検定料・入学料は必要ありません。

### 【和歌山大学大学院経済学研究科修士課程への進学】

- 本研究科修士課程社会人特別入試の出願資格を満たし、南紀熊野サテライト科目等履修生として1年以上在学の上、6科目12単位以上を取得すると、社会人特別入試(南紀熊野サテライト)に出願することができます。出願資格や入学試験などの詳細は、「社会人特別入試(南紀熊野サテライト)修士課程学生募集要項」をご覧ください。

#### ○既修得単位認定制度

本学大学院経済学研究科修士課程の修了には30単位(専門研究・修士論文8単位を含む)が必要です。南紀熊野サテライトの科目等履修生が社会人特別入試(南紀熊野サテライト)を経て本学大学院経済学研究科に入学した場合、本サテライトでの取得単位を含め、入学前に本学および岸和田サテライトの大学院科目等履修生として修得した単位は、18単位を上限として修了に必要な単位数に算入できます。これにより、標準的には修了まで2年を要する修士課程を1年で修了し、修士(経済学)の学位を取得できます。

## 学部開放授業受講制度とは

### 【概要】

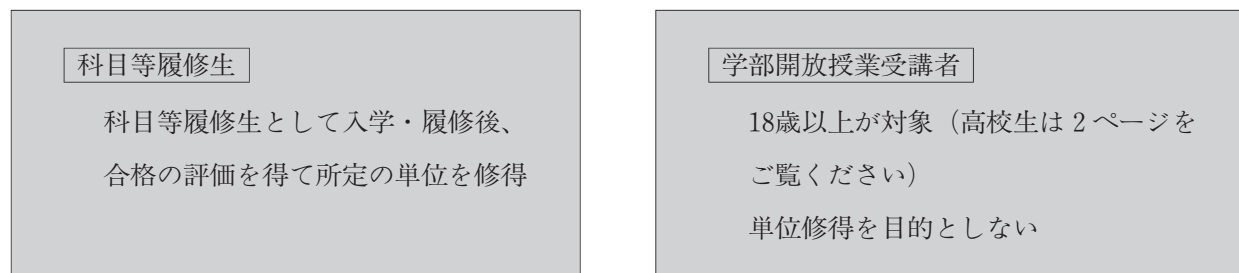
- 令和2年度後期の学部開放授業(連携展開科目)は土曜日の日中を中心にオンラインによる遠隔授業で実施します。18歳以上(高校生は2ページをご覧ください。)であれば受講者として登録できます。試験等による成績評価や単位認定もないため、関心のある授業を気軽に受講していただけます。
- 本学(栄谷キャンパス)および岸和田サテライトで開講される学部開放授業についても、聴講申請のうえ、受講することができます。

### 【受講可能期間】

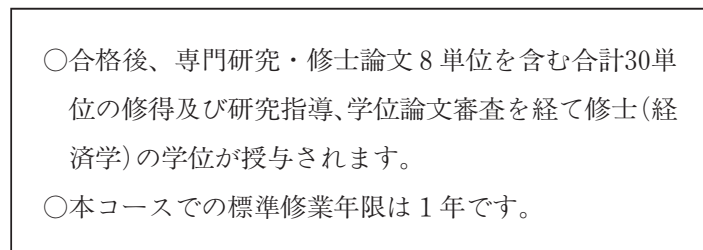
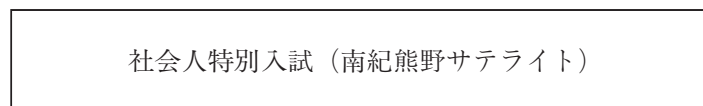
- 受講者登録の有効期間は4年間です。登録後の連続する8学期間は、科目ごとの聴講料のみで受講できます。

### 3. 受講モデル

①自分のペースで、関心のある専門分野の知識や幅広い教養を身につけたい人



②さらに大学院経済学研究科修士課程に進み、修士(経済学)の学位取得をめざす人



#### ■大学院へのステップ

南紀熊野サテライトで大学院科目等履修生として単位を修得した受講生の中から、大学院修士課程に進学され、修士(経済学)の学位を取得された方がいらっしゃいます。



## II. 大学院科目等履修生の募集

### 1. 出願および履修願の手続き

#### 募集科目

科目名、授業内容、開講日時等については、16ページ以降をご参照ください。

※令和2年度後期の授業は、オンラインによる遠隔授業で実施します。オンラインによる遠隔授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。

#### 募集人数

各科目とも、若干名

#### 出願期間・出願方法

令和2年8月18日(火)～8月28日(金)(必着)

出願書類等を学務課学部支援室経済学部係宛に郵送してください。その際、封筒の表に「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生出願書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付してください。

#### 【新規に出願される方】

##### ○入学資格

①大学を卒業した者

②学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※入学資格について不明な点がある方は、検定料振込前に学務課学部支援室経済学部係にお問い合わせください。振込後の返金はいたしかねます。

##### ○検定料

5,000円

##### ○出願書類

「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書」(用紙㉞)

振込依頼書(用紙㉟)を利用して最寄りの銀行等にて検定料を振込み、振込依頼書のC票「振込金受付証明書」を願書の所定の位置に貼付してください。

「履歴書」(用紙㊱)

大学等の卒業(修了)証明書(卒業・修了見込の方は見込証明書)

証明書を卒業大学等から取り寄せ、履歴書に添付してください。

改姓・改名の場合は、戸籍抄本等それが分かる書類を添付してください。

返信用封筒(結果通知用)

角型2号封筒(100g以内)に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、簡易書留で返送出来るよう必要な額の切手を貼ってください。

※提出する書類は、すべて原本とし、コピーは認めません。

#### 【過去に科目等履修生であった方】

過去に科目等履修生であった方(既に有効期限が切れている方)が出願される場合は、新規出願者の扱いとなります。上記の【新規に出願される方】と同様の手続きをお取りください。(注1)

## 【現在、科目等履修生である方】

### A. 履修可能期間中の方

#### ○出願書類

- 「履修願」(用紙⑤)

「科目等履修生履修可能期限証(カード)」のコピーを所定の位置に貼付してください。

- 返信用封筒(結果通知用)

角型2号封筒(100g以内)に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、簡易書留で返送出来るよう必要な額の切手を貼ってください。

### B. 有効期限が2020年9月30日の方

有効期限が2020年9月30日の方が出願される場合は、新規出願者の扱いとなります。上記の【新規に出願される方】と同様の手続きをお取りください。(注1)

注1：卒業(修了)証明書の原本については、過去に提出されている場合は、その証明書のコピーあるいは過去に発行された科目等履修生履修可能期限証(カード)のコピーでもかまいません。

## 選考および結果通知

提出された願書および履歴書等で審査を行います。選考結果は、返信用封筒にて郵送します。合格者には入学手続書類を同封します。

## 入学手続期間・手続方法

令和2年9月14日(月)～9月16日(水)(必着)

手続書類を学務課学部支援室経済学部係まで郵送(期限必着)してください。詳細は入学手続書類に記載します。

## 入学料および授業料

入学料 10,000円

授業料 28,800円(1科目・2単位につき)

詳細については、入学手続書類に記載します。

※所定の期日までに授業料が納付されなかった場合は除籍となります。(入学手続後のキャンセルについては入学手続書類を確認してください。)

## その他

- ・出願後、授業科目の開講日時・場所・担当教員等に変更等が生じる場合がありますので留意してください。なお、これらの変更により受講が困難になった場合は、問い合わせ先までご相談ください。
- ・科目等履修生は通学定期の購入及び学割の利用はできません。
- ・障害を有する志願者で履修上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に問い合わせ先までご相談ください。

## 出願先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学部支援室経済学部係	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp

## 南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書

和歌山大学長 殿

氏名 \_\_\_\_\_ ㊦

下記の科目を科目等履修生として履修したいので、入学を許可願います。

記

### 履修希望科目

希望科目	科目名	単位数
<input type="checkbox"/>	金融トラブルと法的解決	2
<input type="checkbox"/>	現代社会における知的情報通信システム	2

( : 該当するものに「レ」を記入してください。)

履修期間の開始 令和2年10月1日

履修科目数	科目
-------	----

履修総単位数	単位
--------	----

5,000円

新規科目等履修生  
振込金受付証明書  
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊦)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。



# 履 歴 書

ふりがな 氏 名	男 ・ 女 <sup>㊞</sup>		写 真 欄 (3 × 4 cm)
生年月日	昭和 平成 (西暦	年 月 日 生	最近3ヶ月以内に 撮影の上半身正面 脱帽とする
現住所	(〒 - )  TEL.( ) -		
日常の連絡先 (勤務先・携帯電話等)	(〒 - )  TEL.( ) - E-mail.		
最終学歴  卒業証明書添付要	( 年制)	入 学 ----- 年 月	卒 業 ----- 年 月
勤 務 先 (在職者のみ)			年 月～

# 令和2年度後期検定料の納入について（南紀熊野サテライト大学院科目等履修生用）

① 出願資格について確認を必要とする方は、学務課学部支援室経済学部係(073-457-7805)へ確認後振込むようにしてください。

(出願資格の欠格が多々見受けられますので、特に注意してください。)

② この振込依頼書に必要事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関窓口から振込んでください。

※ ゆうちょ銀行からは振込みできません。

※ A T M (現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振込まないでください。

※ 振込手数料は、依頼人負担となります。

③ 「振込金受付証明書(C票)」と「振込金領収書(B票)」は、金融機関の取納印があることを確認のうえ、受け取ってください。

④ 「振込金受付証明書(C票)」は、願書の所定欄に貼付してください。

⑤ 「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

## 〈振込依頼書等記入要領〉

①  太線の枠内は必ず記入してください。

② 志願者氏名は、必ず志願者本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。



切り取って、金融機関にお出しください。

### C 票 振込金受付証明書

令和2年度後期入学検定料  
(願書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000円			
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
志願者氏名				

取納印のない場合は、無効となります。

取納印
-----

(ご依頼人→大学)

### B 票 振込金領収書(本人保存)

令和2年度後期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000円			
振込先銀行	紀陽銀行紀の川支店			
受取人	普通預金	0766935		
フリガナ	和歌山大学			
志願者氏名				
振込手数料	円			

取納印
-----

(取扱店→ご依頼人)

金融機関で切り離してください。

### A 票 振込依頼書

令和2年度後期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日	振込指定	電信扱	手数料	円
受取人	紀陽銀行	紀の川支店 (普)		0766935	金額	5,000円	手数料	円
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学			内	現金			
整理番号	5	6	1		内	手数料		
フリガナ								
志願者氏名								
住所								
電話番号	( ) -							

取納印
-----

(取扱店保存)

\* 金融機関へのお願い

1. 整理番号、志願者氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

## 履 修 願

和歌山大学長 殿

学生番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ ㊦

下記の科目を履修したいので、許可くださるようお願いいたします。

記

### 履修希望科目

希望科目	科 目 名	単位数
<input type="checkbox"/>	金融トラブルと法的解決	2
<input type="checkbox"/>	現代社会における知的情報通信システム	2

( : 該当するものに「レ」を記入してください。)

※有効期限が2020年9月30日の方は、用紙㊦を使用してください。

有効期限 (西暦) 20 年 月 日

(科目等履修生履修可能期限証(カード)を参照ください。)

「科目等履修生履修可能期限証(カード)」  
のコピー貼付欄

### Ⅲ. 学部開放授業受講者の募集

#### 1. 登録および申請の手続き

##### 聴講資格

18歳以上(高校生は除く)であれば、どなたでも可能です。(受講申請に際しての審査や単位はありません。)

※高校生は2ページをご覧ください。

##### 募集科目および募集人数・会場

※令和2年度後期の授業は、オンラインによる遠隔授業で実施します。オンラインによる遠隔授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。

「現代社会と宗教・心のあつかい方」

(30名程度) 先着順

オンライン(ZoomまたはMoodle)

「地域づくりの理論と実践A」

(15名程度) 先着順

オンライン(Teams、ZoomまたはMoodle)

「『ことば』の哲学」～日本語と日本人を考える～

オンライン(TeamsまたはZoom)

「熊野郷土学2C」～郷土学からの地域振興～

(30名程度)

オンライン(Teams、ZoomまたはMoodle)

※令和2年度後期に開講を予定していた「世界農業遺産」は中止となりました。

※お問い合わせは会場ではなく次頁問い合わせ先(和歌山大学南紀熊野サテライト)迄お願いします。

##### 登録および申請期間・方法

令和2年8月18日(火)～9月17日(木)(必着)

以下「必要となる書類等」を参考に、申請書類を和歌山大学南紀熊野サテライト宛に郵送してください。

その際、封筒の表に「学部開放授業書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付してください。

※持参による申請は、9月17日(木)に限り、10時から17時まで受け付けます。

※必ず上記申請期間内に手続き(振込み等)してください。

(申請期間より前(8月18日より前)の申請(振込み等)は、正しく登録されないことがあります。)

(注)学部開放授業の開講日は、重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合は、ご注意ください。

## 必要となる書類等

1. はじめて登録される方 2. 登録の有効期限が2020年9月30日以前の方	2020年10月1日現在、登録有効期間中の方																
<input type="checkbox"/> 学部開放授業受講者登録申請書・聴講申請書 (用紙㊶)  <input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録料 7,000円</li> <li>・聴講料               <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="font-size: 2em;">{</td><td>10,000円 (1科目の場合)</td></tr> <tr><td></td><td>20,000円 (2科目の場合)</td></tr> <tr><td></td><td>30,000円 (3科目の場合)</td></tr> <tr><td></td><td>40,000円 (4科目の場合)</td></tr> </table> </li> </ul> <p>→最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊸)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊶の所定の位置に貼付してください。</p>	{	10,000円 (1科目の場合)		20,000円 (2科目の場合)		30,000円 (3科目の場合)		40,000円 (4科目の場合)	<input type="checkbox"/> 学部開放授業聴講申請書<開放授業登録済者用> (用紙㊷)  <input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聴講料               <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="font-size: 2em;">{</td><td>10,000円 (1科目の場合)</td></tr> <tr><td></td><td>20,000円 (2科目の場合)</td></tr> <tr><td></td><td>30,000円 (3科目の場合)</td></tr> <tr><td></td><td>40,000円 (4科目の場合)</td></tr> </table> </li> </ul> <p>→最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊸)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊷の所定の位置に貼付してください。</p>	{	10,000円 (1科目の場合)		20,000円 (2科目の場合)		30,000円 (3科目の場合)		40,000円 (4科目の場合)
{	10,000円 (1科目の場合)																
	20,000円 (2科目の場合)																
	30,000円 (3科目の場合)																
	40,000円 (4科目の場合)																
{	10,000円 (1科目の場合)																
	20,000円 (2科目の場合)																
	30,000円 (3科目の場合)																
	40,000円 (4科目の場合)																
<input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊹ 郵便番号、住所、氏名を記入し郵送分の切手を貼付して、申請書類とともに必ず同封してください。切手のないものは送付しません。 <b>※持参による申請の場合は、はがきは不要です。</b>	<input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊹ 郵便番号、住所、氏名を記入し郵送分の切手を貼付して、申請書類とともに必ず同封してください。切手のないものは送付しません。 <b>※持参による申請の場合は、はがきは不要です。</b>																

[参考] 登録料…聴講を希望する方は、学部開放授業受講者の登録(7,000円)が必要となります。

1回の登録で4年間(連続する8学期間)の聴講申請が可能です。

聴講料…授業料にかかわるものです。1科目につき10,000円です。

※受講登録後の払戻しはできません。

高校生を対象とした大学授業の公開制度(P.2)による高校生の受講料は別途設定されております。

和歌山大学ホームページよりご確認ください。

※改定があった場合は、改定後の金額とします。

## 申請書類受付通知

申請書類受理後、お送りいただきました受付通知はがきを送付します。募集期間終了日(9月17日)から3～4日過ぎても受理通知はがきが届かない場合は、下記窓口へお問い合わせください。

## 受講通知

授業開始日の10日前頃までに、授業案内(教室等お知らせ)を送付します。

## 登録および申請先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 南紀熊野サテライト	〒646-0011 田辺市新庄町3353-9-102 和歌山県立情報交流センターBig・u内	0739-23-3977 (fax 0739-23-3978) nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp

※開室時間 10:00～17:00 (日曜・月曜・祝日休み)

学部開放授業受講者登録申請書・聴講申請書

和歌山大学長 殿

写真欄  
(3×4cm)

最近3ヶ月以内に  
撮影の上半身正面  
脱帽とする

申請者

フリガナ  
氏名 \_\_\_\_\_ ㊟  
生年月日(西暦) \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日(男・女)  
現住所(〒 \_\_\_\_\_ )  
\_\_\_\_\_   
電話番号( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ 職業 \_\_\_\_\_  
携帯電話番号 \_\_\_\_\_  
E-mail \_\_\_\_\_

保護者(※申請者が未成年の場合に必要な)

氏名 \_\_\_\_\_ ㊟  
申請者との続柄( \_\_\_\_\_ )

下記の開放授業の聴講を希望しますので、開放授業受講者の登録及び聴講を申請します。

記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	現代社会と宗教・心のアツかい方
<input type="checkbox"/>	地域づくりの理論と実践A
<input type="checkbox"/>	「ことば」の哲学
<input type="checkbox"/>	熊野郷土学2C

※開講日が重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合はご注意ください。

- 1科目 17,000円
- 2科目 27,000円
- 3科目 37,000円
- 4科目 47,000円

新規聴講者  
振込金受付証明書  
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊟)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

以下、大学記入欄

学生番号: \_\_\_\_\_

発行年月日: \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

有効期限: \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

### 学部開放授業聴講申請書 (開放授業登録済者用)

和歌山大学長 殿

#### 申請者

学生番号 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_ ㊦

生年月日(西暦) \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日(男・女)

現住所(〒 \_\_\_\_\_ )

電話番号( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_ 職業 \_\_\_\_\_

携帯電話番号 \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_

#### 保護者(※申請者が未成年の場合に必要)

氏 名 \_\_\_\_\_ ㊦

申請者との続柄( \_\_\_\_\_ )

下記の開放授業の聴講を希望しますので、申請します。

#### 記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	現代社会と宗教・心のあつかい方
<input type="checkbox"/>	地域づくりの理論と実践A
<input type="checkbox"/>	「ことば」の哲学
<input type="checkbox"/>	熊野郷土学2C

※開講日が重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合はご注意ください。

有効期限(西暦) 20 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

(学部開放授業登録者証を参照ください。)

「学部開放授業登録者証」のコピー貼付欄

- 1 科目 10,000円
- 2 科目 20,000円
- 3 科目 30,000円
- 4 科目 40,000円

登録期間中の聴講者  
振込金受付証明書  
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊦)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

# 令和2年度後期学部開放授業の登録料・聴講料の納入について（南紀熊野サテライト用）

費用は、新規受講申請者(用紙②)での申請は登録料7,000円＋聴講料10,000円(1科目につき)の計17,000円(2科目の場合は計27,000円)となります。  
更新受講申請者(用紙③)での申請は聴講料10,000円(1科目につき)の計10,000円(2科目の場合は計20,000円)となります。

- ①この振込依頼書に必要な事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関の窓口から振込んでください。  
※ゆうちょ銀行からは振込みできません。  
※ATM(現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振込まないでください。  
※振込手数料は、依頼人負担となります。
- ②「振込金受付証明書(C票)」と「振込金領収書(B票)」は、金融機関の取納印があることを確認のうえ、受け取ってください。
- ③「振込金受付証明書(C票)」は、申請書の所定欄に貼付してください。
- ④「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

## 〈振込依頼書等記入要領〉

- ①  太線の枠内は必ず記入してください。
- ② A票・B票・C票の金額欄は、登録料と聴講料の合計を記入してください。
- ③ 受講者氏名は、必ず受講生本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。

④

切り取って、金融機関にお出しくください。

### C票 振込金受付証明書 令和2年度後期登録料・聴講料 (申請書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	円			
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
受講者氏名				

取納印のない場合は、無効となります。

収 納 印
-------------

(ご依頼人→大学)

### B票 振込金領収書(本人保存)

令和2年度後期登録料・聴講料

依頼日	令和	年	月	日
金額	円			
振込先銀行	紀陽銀行紀の川支店			
受取人	普通預金	0766935		
フリガナ	和歌山大学			
受講者氏名				
振込手数料	円			

収 納 印
-------------

(取扱店→ご依頼人)

### A票 振込依頼書

令和2年度後期登録料・聴講料

電信扱

依頼日	令和	年	月	日	振込指定
受取人	紀陽銀行	紀の川支店	(普)	0766935	金額
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学				現金
整理番号	69				内
フリガナ					取
受講者氏名					手数料
住所					円

収 納 印
-------------

(取扱店保存)

\*金融機関へお願い

1. 整理番号、受講生氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。



## IV. 令和2年度後期 南紀熊野サテライト開講授業

### 1. 大学院授業科目

授業科目名 (英文表記)	金融トラブルと法的解決 (Troubles in the money and their legal solutions)		
単位数	2	授業形態	講義・演習、オンライン(Teams)
担当教員	吉田 雅章		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	① 11月6日(金) 18:30~20:50	③ 11月13日(金) 18:30~20:50	⑤ 11月20日(金) 18:30~20:50
	② 11月7日(土) 10:00~16:00	④ 11月14日(土) 10:00~16:00	⑥ 11月21日(土) 10:00~16:00

#### 【授業のねらい・概要】

民法は最も広範で包括的な法律の代表と言っても過言ではありません。極めて多くの課題を抱えており、膨大な社会問題を解決する手段の一つです。その多くの社会問題の中で、お金の貸し借りに関する紛争を本講義は法的観点から取り扱おうと考えております。たとえば、トイチのような高金利を行っているヤミ金融に焦点を当て、なぜこのような金融業者が存在し、司法的制限はどうかを考えてもらいます。民法だけではなく、民法の特別法に該当する利息制限法や貸金業法、さらには民事訴訟法や破産法なども視野に入れて、実務上の種々の問題を分析・検討してもらうことが狙いです。コミックスや映画で広く知られている「ナニワ金融道」や「ミナミの帝王」、行政書士が主人公である「カバチタレ!」や「特上カバチ」などを教材として取り上げるにより、無味乾燥した条文解釈ではなく、具体的に興味深い内容になるように努めるつもりです。もし可能であればリアルタイムで発生している事件をも教材にすることができれば最高です。最近、発生した地面師や登記詐欺に絡む問題も取り上げたいと思っています。抵当権を代表とする物的担保や、連帯保証を代表とする人的担保も守備範囲としたいです。民法は抽象的・専門的で、難解かつアクセスしにくいという感覚を持たれているかもしれません。しかし、これまでに南紀熊野サテライトで開講した科目と同様に、民法を中心とした法律群は意外に身近で興味深いものであるということを理解してもらいたいです。法律は難解で近寄りたがたい存在であるという認識を、身近で日常生活を送る上で非常に重要な存在であるという認識に変えてもらうことができれば幸いです。

#### 【授業計画】

以下に掲載する計画は、あくまでもサンプルです。初回で受講生の皆さんと話し合っ、実際に役に立つような講義になるよう再計画を立てたいと思っています。視聴してもらうTV番組や映画の順序も工夫するつもりです。

- 第1回** イントロダクション(受講生の皆さんと十分に話し合いをして授業計画を再検討し、順番を入れ替えたり、講義内容を最新化したりすることも可能です。)  
判例を利用して過去の金銭トラブル(可能ならば最高裁判決が出されたもの)を思い返してもらいます。
- 第2回** 少し古いのですが、現在でも十分に利用価値のある、フジテレビ系列で放送された中居正広主演のドラマ「ナニワ金融道」を視聴して、現実の取引社会における金融トラブルについて考えてもらいます。  
(抵当権や連帯保証に関連性の大きい第1話から第3話を取り上げることを計画しています。)
- 第3回** 上記「ナニワ金融道」の第4話を視聴してもらい、二重売買を考えてもらいたいと計画しています。  
クルーザーの二重売買事件を利用して問題解決型学習を展開することを考えています。
- 第4回** 上記「ナニワ金融道」の第5話と第6話を視聴して、バブル崩壊直後の銀行とその他の金融業との関係を検討してもらい、金融業界における錯綜した過去の状況を、参加者全員で法的に検討してみたいと思っています。
- 第5回** 「新・ミナミの帝王」を視聴してもらい、金銭消費貸借契約における高金利の制限について考えてもらう予定です。  
トイチのヤミ金業者とこれを取り締まろうとする警察との駆け引きを検討する予定です。
- 第6回** TVドラマや映画などでおなじみの「ミナミの帝王」を数話視聴して、そこで繰り上げられる民法上の問題(トイチの利息を除いて)について考察してもらうことを計画しています。  
TVドラマ「カバチタレ!」や「特上カバチ」なども時間があれば視聴してもらいます。

#### 【到達目標】

南紀熊野サテライトでの講義ですので、民法や民事訴訟の専門的な知識はなくても、社会人経験が豊富な受講生を想定して講義する予定です。法学部卒業生に対するアカデミックな、法律の解釈修得を狙うのではなく、実際に金銭トラブルの関係者となった場合に、当惑することなく落ち着いた対応ができることを目標と致します。当事者になった場合の専門的な対応は弁護士に任せるべきで、それ以前の常識的な対応を一般社会人として振る舞えるようになることが到達目標です。

#### 【成績評価方法】

地理的な問題のために受講生数が少ないと思いますので、毎回、十分に準備をして、活発に議論してもらおうと思っています。  
各回に、その事前準備や発言内容等を考慮して成績評価します。

#### 【教科書】

テキストは指定しませんが、小型で結構ですので最新の六法を用意しておいて下さい。

#### 【参考書・参考文献】

青木雄二「ナニワ金融道」や有斐閣Sシリーズの民法Ⅰ～Ⅴ(全5巻)などが参考になります。

#### 【履修上の注意・メッセージ】

小型で結構ですので新しい六法(有斐閣のポケット六法が安価で有益で、おすすめです)を用意して下さい。有職者の受講生が多いと思いますが、できる限り、毎時間出席して下さい。

#### 【履修する上で必要な事項】

難解な内容を理解しやすいように、可能な限り具体的にするため、映画やTVドラマのDVDを利用しますが、活発な質疑応答を期待します。

#### 【受講を推奨する科目】

南紀熊野サテライトで今年度開講される科目では特にありませんが、栄谷キャンパスまで通学できる人には法律関係の科目(特に吉田が担当します民事責任法特殊問題)を受講することを推奨します。

#### 【授業時間外学修についての指示】

法的な問題、とりわけ民事紛争に関するTV番組や新聞記事などに関心を持って接しておいて下さい。  
前述の映画やTVドラマはレンタルビデオやセルビデオでも視聴することができます。

#### 【その他連絡事項】

本講義は、Microsoft Teamsを用いた遠隔授業で実施します。対応できるようにしておいてください。  
Microsoft Teamsのチーム・コードは「3uqxhw」です。Microsoft TeamsのID取得時のメールアドレスの設定は大学発行のもの(アドレス)にしてください。受講生の方々からの要請があれば、事前に、講義担当者・吉田雅章が同サテライト事務室まで出張することも可能です。

授業科目名 (英文表記)	現代社会における知的情報通信システム (Intelligent Information Communication System in Modern Society)		
単位数	2	授業形態	講義、オンライン(TeamsまたはMoodle)
担当教員	風間 一洋、吉廣 卓哉、八谷 大岳、松田 憲幸、村川 猛彦		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	10月3日(土) 10:30~16:00 担当:(松田 憲幸)	10月24日(土) 10:30~16:00 担当:(吉廣 卓哉)	
	10月10日(土) 10:30~16:00 担当:(八谷 大岳)	10月31日(土) 10:30~16:00 担当:(村川 猛彦)	
	10月17日(土) 10:30~16:00 担当:(風間 一洋)		

#### 【授業のねらい・概要】

インターネットや人工知能技術の進展と普及に伴い、現代の情報通信システムは社会経済活動や産業構造に欠かすことができない社会基盤技術として重要な役割を果たしているだけでなく、スマートフォンやSiriやAlexaなどのAIアシスタントなどの形態で個人のライフスタイルまで大きく変化させている。本講義では、現代の情報通信システムにとって特に重要なネットワークと人工知能の要素技術とその応用について解説し、現代社会を支えている最新技術への理解を深めることを目的とする。

#### 【授業計画】

##### 第1回「人工知能の知識の表現」

知的な情報システムとはどんなシステムか? どうすれば設計できるのか? に応えるべく、ヒトがもつ知識について考察し、機械のための書き表し方について考える。

##### 第2回「機械学習入門」

手書きの住所を認識してはがきを仕分けたり、世界一の囲碁棋士に勝ったり、今、コンピュータは人間のように学習する能力を身につけて、私たちの身の回りで活躍し始めている。本講義では、このようなコンピュータの学習がどのように実現されているのか、基本数学を用いて概説する。さらに、手書き数字の仕分け方法を学習するコンピュータプログラムを動かし、コンピュータの学習は実際にはどのように行われるのか、どれくらい仕分けができるのか、人間の学習と似ているのかなどを、演習を通して学ぶ。

##### 第3回「サーチエンジンの仕組み」

すでに日常生活に欠かすことがなくなったサーチエンジンについて、その基本的な仕組みと歴史、進んだ使い方について学ぶ。さらに、その他にも実際に活用されている情報検索や情報推薦の事例を取り上げて、その特徴や仕組みについても解説する。

##### 第4回「IoTと情報ネットワーク」

IoT(Internet of Things)とはセンサの測定値をインターネットで集め、クラウドに格納し、集めたデータを分析・可視化することにより社会で有効活用することを指し、近年、急激に実用化が進んでいる。本講義では各分野で導入が進むIoTや、関連する情報ネットワーク技術、クラウド技術について解説する。

##### 第5回「情報セキュリティのこれまでとこれから」

情報資産を守るための技術(情報セキュリティ)に関して、日常的に使用しているコンピュータなどへの脅威とその対策だけでなく、暗号通貨や量子暗号通信といった今後の普及が期待される技術についても解説する。

#### 【到達目標】

最新の情報通信システムの要素技術とその応用について理解する。

#### 【教科書】

なし。必要に応じて資料を配布する。

#### 【参考書】

なし。必要に応じて講義中に紹介する。

#### 【成績評価方法】

各回の授業で小テストもしくはレポートを課す。その合計の評価で判定する。

#### 【授業時間外学修についての指示】

各回の授業で解説した内容について、復習と自主的な学習が必要となる。

#### 【履修上の注意・メッセージ】

授業は基礎知識がなくても理解できるように構成するが、入門書などを通じて理解を深めること。さらに、第2回目の授業ではGoogle Colaboratoryを用いて演習を行うため、受講生は以下の準備をすること。

1. Googleアカウントを当日使えるように準備すること。持っていない場合は当日担当教員の指示に従って作成する。
2. Wi-Fiにアクセス可能なノートパソコンを持参すること。自分で用意できない場合は、10月3日までに南紀熊野サテライト事務スタッフ(nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp)に電子メールで連絡すれば、館内貸し出し用パソコンを用意できる。
3. ノートパソコンにWebブラウザであるGoogle Chrome([https://www.google.com/intl/ja\\_jp/chrome/](https://www.google.com/intl/ja_jp/chrome/))をインストールしておくこと。

#### 【その他連絡事項】

本講義は、MoodleとTeamsを用いた遠隔授業で実施します。対応できるようにしておいてください。

Moodleのコース名は「現代社会における知的情報通信システム(南紀熊野サテライト)」です。

Teamsのチーム名は「現代社会における知的情報通信システム」、チーム・コードは「kdmammh」です。TeamsのID取得時のメールアドレスの設定は大学発行のもの(アドレス)にしてください。

なお、MoodleとTeamsをどのように用いるかは講師によって違うので、各回を担当する講師の指示に従ってください。

## 2. 学部授業科目

授業科目名 (英文表記)	現代社会と宗教・心のあつかい方 (Modern Society and Religion/Emotional Management)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義、オンライン(ZoomまたはMoodle)
担当教員	藤永 博・村川 治彦・西倉 実季		
実施場所	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	① 10月3日(土) 13:00~17:00	③ 10月31日(土) 13:00~17:00	⑤ 11月21日(土) 13:00~17:00
	② 10月24日(土) 13:00~17:00	④ 11月7日(土) 13:00~17:00	⑥ 2月6日(土) 13:00~17:00
<b>【授業の概要・ねらい】</b>			
<p>本授業では、現代社会を生きていくうえで拠りどころとなりうる“関わり”や“支え”について、次の三つのテーマ・切り口から考えてみます。一つ目は「宗教」です。当地には熊野三山「熊野詣」があり、多くの人々を引き付けています。二つ目は「人間関係」です。人の悩みの多くが「人間関係」由来であるといわれています。その一方で、この人間関係こそが私たちの「拠りどころ」ともいえます。よき人間関係を構築するための「心(感情)のあつかい方」について考えてみます。三つ目は「物語」です。物語とは何か、なぜ人は自己についての物語を求めるのか、その背景にはどのような現代社会の状況があるのかについて考察します。</p>			
<b>【授業計画】</b>			
<p><b>第1回(10月3日)「現代社会における“関わり”や“支え”」(経済学部・藤永)</b> 現代社会を生きていくうえでの拠りどころとなりうる“関わり”や“支え”について、ゲストを交えてディスカッションを行います。ゲストの中島教授には、見えにくい障がい(発達障がいや認知症など)への理解と地域における対応について講演をしていただく予定です。 (ゲスト 西南女学院大学・中島教授(北九州大学名誉教授))</p>			
<p><b>第2回(10月24日)「自己と物語」(教育学部・西倉)</b> 今日、メディア上では「自己実現」「自己分析」「トラウマを負った自己」といった自己の主題化がみられます。こうした議論の前提になっている「自分」や「わたし」という現象がどのように成り立っているのか、「物語」という概念に注目して考えていきます。</p>			
<p><b>第3回(10月31日)「自己語りの社会学」(教育学部・西倉)</b> 自分自身を経験するひとつの様式であると同時に、それを他者に伝えるための表現でもある「自己を語る」営みに着目し、現代社会における自己のあり方を主に「生きづらさ」という観点から捉えます。また、このような「自己を語る」営みを成立させている現代社会の特徴についても考察します。</p>			
<p><b>第4回(11月7日)「現代社会と宗教」(関西大学人間健康学部・村川教授)</b> 欧米において、特定の教団には属さないがいわゆるスピリチュアルな存在は信じる人々(Spiritual But Not Religious)が増えています。資本主義が成熟した後期近代において、生きる意味を模索するこうした人々にとって、宗教がもつ意味について考えていきます。</p>			
<p><b>第5回(11月21日)「熊野と宗教ツーリズム」(関西大学人間健康学部・村川教授)</b> ここ数年、熊野を訪れる外国人観光客(インバウンド)が急増しています。日本人以上に真面目に古道を歩く彼らは、何に惹かれて熊野を訪れるのでしょうか。世界遺産である熊野のグローバルな価値を検討することを通して、宗教ツーリズムの新たな可能性を考えてみます。</p>			
<p><b>第6回(2月6日)「感情と行動」/「心のあつかい方」(経済学部・藤永)</b> 構成主義的情動理論など、いくつかの「感情理論」を紹介したうえで、感情のしくみや行動との関係、感情の調整や利用、現代社会におけるリーダーシップなどについて考えてみます。最後に授業全体の総括のためのディスカッションを行います。</p>			
<b>【到達目標】</b>			
<p>①現代社会における自己の成立と変容について、物語という視点を用いて説明することができる。 ②現代社会において宗教がもつ意味について、自分の考えを述べることができる。 ③多様な人間関係のなかで生まれる感情の調節や利用について自己分析をすることができる。</p>			
<b>【教科書】</b>			
使用しません。必要に応じて資料を提供します。			
<b>【参考書】</b>			
<p>千野帽子「人はなぜ物語を求めるのか」(筑摩書房、2017年) ISBN: 9784480689795 小林多寿子・浅野智彦編「自己語りの社会学—ライフストーリー—問題経験・当事者研究」(新曜社、2018年) ISBN: 9784788515864 高山直「EQ入門 対人能力の磨き方」(日本経済新聞出版社、2007年) ISBN: 9784532111229 小杉俊哉「リーダーシップ3.0 カリスマから支援者へ」(祥伝社新書・祥伝社、2013年) ISBN: 9784396113063 暉峻淑子「社会人の生き方」(岩波新書・岩波書店、2012年) ISBN: 9784004313885 他の参考書は授業時間中に紹介します。</p>			
<b>【成績評価の方法】</b>			
レポート(3回)100% 各担当者がレポートの課題・テーマを設定し、授業時間中に説明します。			
<b>【授業時間外学修・メッセージ】</b>			
授業中、ディスカッションの時間を多くとりたいと思います。参考書などを利用して予習をし、積極的に参加してください。			
※この授業は、オンラインによる遠隔授業で実施します。オンラインによる授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。			

授業科目名 (英文表記)	地域づくりの理論と実践 A (Strategic regional/community management A)		
単位数	2 (学部生のみ) 【後期】	授業形態	講義・演習、オンライン(Teams、ZoomまたはMoodle)
担当教員	藤田 武弘		
実施場所	秋津野ガルテン (和歌山県田辺市上秋津4558-8)		
実施日・時間	下記「授業計画」のとおり	区 分	学部開放科目
<p><b>【講義概要】</b>          少子高齢化が進展する日本では、都市と農村との格差が拡大し、農村では“限界集落”が増加するなどの問題が起こっている。しかし、その一方で食の土台となる第一次産業の営みや農山漁村での暮らしに対する都市住民の関心も高まっている。そして、農村においても「地域資源の活用」「農工商連携」「都市農村交流」など様々な取り組みが進められている。なかでも、都市農村交流における「鏡効果」の存在は、農山村再生の手法としても大いに注目を集めている。近年、総務省がふるさとの地域づくりを支える多様な担い手として提起した「関係人口(長期的な定住人口でも短期的な流動人口でもなく、当該地域や住民と多様に関わる者)」づくりは、まさにこのような交流を土台に拡がりをみせるものと考えられる。本講座は、農業・農村の現状に対する「当事者意識」に裏付けられた深い共感と問題関心を有し、且つ新たな地域づくりの担い手として注目される「関係人口」を創出する上でのコーディネーターとしての役割を果たしうるホスピタリティ豊かな地域づくり人材の育成を目的として開講する。</p> <p><b>【授業計画】(後期)(土曜2講義+日曜1講義)×5回</b>  <b>〈視座①：地域づくりの現場と自治体の役割〉10/3-4(土日)</b>          【01】地域づくりと合意形成～「秋津野塾」の経験に学ぶ～(玉井常貴：(株)秋津野) 13:00～14:30          【02】地域づくりとコミュニティビジネス(木村則夫：(株)秋津野) 15:00～16:30          【03】「自治体戦略2040構想と地方自治」(平岡和久：立命館大学政策科学部) 9:00～10:30  <b>〈視座②：地域づくりの理論〉10/24-25(土日)</b>          【04】地域づくりの経済学～地域内再投資力論から学ぶ～(岡田知弘：京都橋大学) 13:00～14:30          【05】地域運営組織の実態と課題(有田昭一郎：島根県中山間地域研究センター) 15:00～16:30          【06】地域経営の考え方(八島雄士：和歌山大学) 9:00～10:30  <b>〈視座③：地域づくりと農協〉11/14-15(土日)</b>          【07】協同組合の現代的価値(岸上光克：和歌山大学) 13:00～14:30          【08】世界の農協、日本の農協(原拓生：(株)きてら) 15:00～16:30          【09】農協青年部活動が目指すもの(芝翼：JA和歌山県青年部) 9:00～10:30  <b>〈視座④：地域づくりと交流・連携〉2021/1/9-10(土日)</b>          【10】都市農村交流の新たな段階(藤田武弘：和歌山大学) 13:00～14:30          【11】交流・連携による地域コミュニティの再編(藤井至：和歌山大学) 15:00～16:30          【12】都市農村交流を支える女性たち(植田淳子：和歌山大学) 9:00～10:30  <b>〈視座⑤：地域づくりと担い手育成〉2021/1/30-31(土日)</b>          【13】農業後継者の現状と課題(山本淳子：農研機構食農ビジネスセンター) 13:00～14:30          【14】地域サポート人材の役割と課題(関司直也：法政大学) 15:00～16:30          【15】農業労働力の確保と地域づくり(木村三三男：鳥取県) 9:00～10:30</p> <p><b>【到達目標】</b>          本学では「域学連携」の観点に基づく地域での多様な実践型教育・研究が行われている。本講義の受講者が、それら地域での実践的な学びを自ら深めていくことを期待したい。なお、本講義は江頭ホスピタリティ事業振興財団の「寄付講義」として開講されることから、受講者における地域での学びの質的変化やキャリア形成に与える影響等の教育効果の検証を行う予定である。</p> <p><b>【教科書・教材】</b>          毎回レジュメ・資料を配布する。</p> <p><b>【参考書】</b>          ○橋本卓爾・山田良治・藤田武弘・大西敏夫編「都市と農村—交流から協働へ—」日本経済評論社、2011年。          ○藻谷浩介・NHK広島取材班「里山資本主義」角川書店、2013年。          ○岸上光克「廃校利活用による農山村再生」JC総研ブックレット、筑波書房、2015年。          ○小田切徳美「農山村は消滅しない」岩波新書、2015年。          ○藤田武弘・内藤重之・細野賢治・岸上光克編著「現代の食料・農業・農村を考える」ミネルヴァ書房、2018年。</p> <p><b>【授業時間外学習】</b>          本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行うこと。さらに、授業内容に関連する課題に調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求める。</p> <p><b>【履修上の注意・メッセージ】</b>          地域の再生は、一朝一夕に叶うものではない。常に「現場(実態社会)が先生」であるという謙虚さと熱意をもって、社会人などの多世代の人々とともに地域の悩みを共有しながら根気強く問題解決に取り組もうとする受講生を歓迎する。なお、週末の土曜日開催(土曜日2講/日曜日1講とまとめ)というスタイルの講義以外に、オプションで関連するフィールドワーク(現地視察や農家民泊・農作業研修など)が提供されるので、これにも積極的に参加してほしい。記載の講義順や内容は変更することもあります。</p> <p>※この授業は、オンラインによる遠隔授業で実施します。オンラインによる授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。</p>			

授業科目名 (英文表記)	「ことば」の哲学 ～日本語と日本人を考える～ (An Introduction to Japanese Philosophy : Language)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義、オンライン(TeamsまたはZoom)
担当教員	天野 雅郎		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	① 10月10日(土) 13:00～17:00	③ 11月28日(土) 13:00～17:00	⑤ 1月9日(土) 13:00～17:00
	② 11月14日(土) 13:00～17:00	④ 12月19日(土) 13:00～17:00	⑥ 2月13日(土) 13:00～17:00

#### 【授業の概要・ねらい】

哲学は難しい、という印象を多くの人が持っています。

たしかに、哲学は難しく、ひよつとすると全ての学問の中で、もっとも難しい学問であるのかも知れません。

が、それと同時に哲学は、いたって易しい、あらゆる人に開かれた学問(と言うよりも、学問以前の学問)であることも事実です。

この授業では、そのような哲学の難しさと易しさを、あたかも「茶の湯」(=茶道)と「日常茶飯」の両面から、お茶を飲み、ご飯を食べるかのように、皆さんに伝えることが叶えば幸いです。

テーマには、日本語を選んでみました。

なぜなら、そもそも哲学が自分の頭を使って、自分の生活や人生を言語化するものである以上、日本人の哲学は必然的に、日本語を考えることに辿り着かざるをえないからです。

この授業では、そのような日本人の哲学にとって、必要不可欠な日本語を取り上げ、そのことを通じて、これまで日本人が何を考え、これから何を考えようとしているのか、受講生の皆さんと一緒に議論することが出来れば、と願っています。

#### 【授業計画】

この授業では、日本を代表する日本語学者、大野晋の『日本語の年輪』と『日本語の水脈』をテキストに選び、まず日本語の成り立ちを理解します。

そして、そこから皆さんが、ごく普通に使っている、さまざまな日本語の使い方を振り返り、あらためて日本語の幅の広さと奥の深さを辿り直したい、と考えています。

あわせて、このテキストに登場する日本語の中から、毎回、幾つかの語を抜き出し、その歴史や文化や、それらが今の私たちにも及ぼしている、とても広範な影響について、お話を致します。

第1回 講読『日本語の年輪』(其の壱)

第2回 同上(其の弐)

第3回 同上(其の参)

第4回 講読『日本語の水脈』(其の壱)

第5回 同上(其の弐)

第6回 同上(其の参)

#### 【到達目標】

日本語の成り立ちを知り、それが日本人の思考法にとって、どのような影響を今に及ぼしているのか、自分自身の言葉遣いを通じて考えることが出来るようになるのが目標です。

#### 【教科書】

大野晋『日本語の年輪』『日本語の水脈』(新潮文庫)

#### 【参考書】

適宜、紹介します。

#### 【授業時間外学修】

毎回、テキストの所定の箇所を読んだ上で、授業に参加することが必要です。

#### 【履修上の注意・メッセージ】

多くの皆さんの、ご参加を期待します。

※この授業は、オンラインによる遠隔授業で実施します。オンラインによる授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。

授業科目名 (英文表記)	熊野郷土学 2 C ～郷土学からの地域振興～ (Kumano hometown study 2 C)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義、オンライン(Teams、ZoomまたはMoodle)
担当教員	此松 昌彦、出口 竜也、竹林 浩志、鈴木 裕範、ゲスト講師		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	① 10月17日(土) 13:00～17:00	教育学部	此松昌彦 (ゲスト講師: 今井ひろこ氏)
	② 11月28日(土) 13:00～17:00	観光学部	出口竜也 (ゲスト講師: 此松武彦氏)
	③ 12月19日(土) 13:00～17:00	観光学部	竹林浩志 (ゲスト講師: 横山昌太郎氏)
	④ 1月9日(土) 13:00～17:00	教育学部	此松昌彦 (ゲスト講師: 福村成哉氏)
	⑤ 1月16日(土) 13:00～17:00	鈴木裕範 (非常勤講師)	
	⑥ 2月13日(土) 13:00～17:00	観光学部	出口竜也 (ゲスト講師: 山田桂一郎氏)
<b>【授業のねらい・概要】</b>			
<p>「熊野郷土学 2 C」では、熊野郷土学で今まで学んだ自然、文化、歴史、民俗、経済史、災害史、地域経営という観点から価値のある地域の人々の暮らしを学んできた。それを活用して将来への可能性を考えることをテーマにする。そのために他地域と比較しながら、自分たちの価値を深めるエコツーリズムをはじめ、地域資源を活用するジオパーク、郷土食の活用、また紀伊半島を訪れる外国人が増えてきたことから、宿・民泊が地域と地域外のコミュニティのハブ的な役割を持つようになってきている。それらを総合化して地域を運営することとは何かを学びます。また最後の回でコロナ禍後にできることについても皆さんと議論していきます。学生、自治体職員、地域づくり関係者、観光商工関係者、地域ガイド、ジオパーク関係者、教育関係者、Uターン者など、幅広い分野からの受講を期待します。</p>			
<b>【授業計画】</b> ※記載の講義順や内容は変更することもあります。			
<p>第1回 ガイダンス・「地域資源の価値をどう地域経営に活かすのか?」「Googleマップ情報の活用事例と今後」 教育学部 此松昌彦 (ゲスト講師: 今井ひろこ氏 コムサポートオフィス)</p>			
<p>第2回 「インバウンドと地域コミュニティの入り口として、宿・民泊のこれからのスタイル」 観光学部 出口竜也 (ゲスト講師: 此松武彦氏 インバウンドライター)</p>			
<p>第3回 「郷土資源の価値と商品化のとりべき戦略とは」「地域資源を活用した地域住民向けのエコツーリズム」 観光学部 竹林浩志 (ゲスト講師: 横山昌太郎氏 森林インストラクター・博士(農学))</p>			
<p>第4回 南紀熊野ジオパークセンターの見学をネットによりおこなう予定。 「世界の中の南紀熊野、南紀熊野ジオパークからの地形・地質・風土」 教育学部 此松昌彦 (ゲスト講師: 福村成哉氏 南紀熊野ジオパークセンター研究員)</p>			
<p>第5回 「暮らしの視点からの地域文化の再評価と創造」鈴木裕範非常勤講師 地域のアイデンティティである地域文化の多くが、コミュニティの変容、暮らしが揺らぐ中で、喪失と忘却の危機に立っている。伝統的な暮らしが育んできた地域の物語を捉え直し継承することの意義と可能性を考える。</p>			
<p>第6回 「エコツーリズムの視点で見る郷土の資源の商品化から地域経営を考える」 観光学部 出口竜也 (ゲスト講師: 山田桂一郎氏 JATIC.SWISS)</p>			
<b>【到達目標】</b>			
紀伊半島の産業について考え、自らのことばで語るができる。またそれらの興味に基づいて、自ら文献等を調べることができる。			
<b>【教科書】</b>			
特に定めません。基本的には適宜、講義ごとに資料を配布します。			
<b>【参考書】</b>			
<p>「観光立国の正体」藻谷浩介、山田桂一著 新潮新書 講義時に適宜、紹介します。(学部開放授業受講者用シラバスには記載されません。) 出席状況と議論への参加、授業態度やレポートなど総合的に評価します。</p>			
<b>【授業時間外学習】</b> (学部生用には必須、学部開放授業受講者用は任意。共通でも可)			
紀伊半島の郷土や産業のニュースについて関心を持ちながら集めておいてください。			
地域でどんなことが話題になっているのか整理しておいて下さい。復習と自主的な学習が必要です。			
<b>【履修上の注意・メッセージ】</b> ※記載の内容は変更することもあります。			
基礎知識がなくても理解できるように授業を構成しますが、各自でわかりやすい入門書などを読んで理解を深めるようにしてください。講義は1回完結です。郷土の地形地質が地域の暮らしにどうつながるのか考えてみてください。			
※この授業は、オンラインによる遠隔授業で実施します。オンラインによる授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。			



# オンライン授業の手引き

※詳細は南紀熊野サテライト HP も合わせてご確認ください。



1、ご家庭のインターネット環境を確認する。



2、申請用紙にて期日までに受講申請する。



3、大学から ID とパスワードが発行される。



4、授業前に届く受講案内に従って設定する。



5、授業時間に指定のサイトにログインして接続する。(ライブ配信・双方向授業の受講)



同時双方向型 (zoom, Teams)  
※フリーソフトダウンロード



6、見逃し配信は、学内指定のサイトへログインも可能 (後日受講可)

見逃し配信・テキスト・課題等 (Moodle)



**注意事項：全ての後期授業はオンラインで実施致します。ご家庭での受講端末をご利用ください。コロナウィルスの感染状況を鑑みて、ご自宅でインターネット環境のない方に限り教室利用 (ビッグユー) 会場での受講が可能な場合もあります。申請前にご相談ください。**

※発行される ID, パスワードは、他者に知られないように管理下さい。  
不正利用は罰せられます。



## 〈気象警報発令時の授業の取扱いについて〉

田辺市・新宮市に「暴風警報」または「大雨警報」が発令された場合は、発令期間中の授業は休止となります。

詳しくは、南紀熊野サテライトホームページ

<https://www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/>を参照してください。

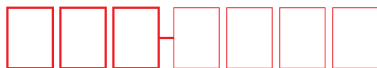
## 〈個人情報の取り扱い〉

本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する規程」等に基づき、厳密に取り扱います。



# 郵便はがき

ここに63円切手を貼付してください。



住所	
氏名	様

⑦

※以下は大学側記載欄なので、記入しないで下さい。

## 令和2年度学部開放授業申請書類《後期》受付通知

- 【科目名】  現代社会と宗教・心のあつかい方  
 地域づくりの理論と実践A  
 「ことば」の哲学  熊野郷土学2C

あなたの令和2年度後期和歌山大学南紀熊野サテライト学部開放授業の申請書類を受付いたしましたのでお知らせいたします。

なお、授業開始案内(教室等お知らせ)は、授業開始日の10日前頃迄に郵送します。

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9-102

和歌山県立情報交流センターBig・u内

国立大学法人 和歌山大学南紀熊野サテライト

- 注) 1. 郵便番号、住所、氏名を記入し63円切手を貼り、申請書類を郵送時に同封してください。  
2. 63円切手の貼付けの無いものは送付できません。  
3. 申請用紙を窓口に持参する場合は、はがきの提出は不要です。